

よい豚のもとをたどればよい種豚

国産純粋種豚改良協議会だより



豚だけでなく、
人間も疾病対策!!
暑熱対策もわすれ
ないで

第14号 2021. 7. 30 発行

暑中お見舞い申し上げます。今年の梅雨から夏にかけても、局地的な豪雨や非常に蒸し暑い日が多く続いております。残念ながら、ヒトの新型コロナウイルス感染についてもワクチン接種が始まったとはいえ衰えが無く、さらには国内で豚熱(CSF)の発生、近隣諸国ではアフリカ豚熱(ASF)の発生も続いており、いずれも予断を許さない状況です。

そんななか、皆様色々創意工夫と努力のもと、『新しい養豚経営様式』に取り組みまれておられると思います。事務局も、どんな時も生産者の方が、安心して柔軟に生産継続できる環境と体制を整えることが出来るようにそのお手伝いと、インターネットシステムなど駆使し、様々な手段で情報交換も積極的に行っていきたいと思っております。

(おかげさまで、国産純粋種豚改良協議会事務局メンバー、全員新型コロナに感染することもなく元気に過ごしております。滋養豊富で美味しい国産純粋種豚を使って生産されている豚肉パワーのお陰だと、自負しております。)

国産純粋種豚改良協議会会員向けに遺伝的能力評価結果 及び種豚ランキングの提供を開始しました!!

会員の皆様、長らくお待たせして申し訳ありませんでした。会員向けサイトにて遺伝的能力評価結果と種豚ランキングの提供を開始しました!!

今回提供する遺伝的能力評価結果と種豚ランキングは、会員が所有する種豚の持つ能力の数値化や種豚、精液の交流を図ることで、より良い国産純粋種豚の育種改良を行うことを目的としており、令和3年6月までに収集したランドレース種、大ヨークシャー種、デュロック種のデータを対象に、会員である独立行政法人 家畜改良センターが評価及びランキングを実施しています。なお、評価結果及びランキングは会員向けサイト上での公表となるため、**会員外の閲覧は出来ません。**

参考:独立行政法人 家畜改良センターのホームページ

(<http://www.nlbc.go.jp/kachikukairyo/idena/buta>)でも本評価結果を紹介しています。

※本データの閲覧方法等については事務局・神長(かみなが)まで、データに対する詳細については独立行政法人家畜改良センター改良部までお願いいたします。





【進捗状況報告】

国産純粋種豚改良協議会認定銘柄豚事業

令和2年度通常総会で国産純粋種豚改良協議会 銘柄豚認定規則の一部改訂も承認され、認定申請開始となりました。現在の事業進捗状況をお伝えいたします。

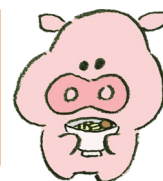
①ロゴマーク おかげさまで116名の方からの応募を頂きました。(重複応募もあり、226作品集まりました)皆様に投票して頂いたトップ得票の作品について、現在商標登録を進めております。また、ロゴマーク利用許諾についても弁理士事務所に依頼し、作成中です。

②協会ホームページ 国産純粋種豚改良協議会認定銘柄豚専用ページの開発作成に着手しております。

③【皆様に強くお願いです!!】肝心の認定申請が現在、1銘柄のみとなっております。是非、認定申請と取引先生産者にもお声がけよろしくお願い致します。(認定申請に関するお問い合わせは事務局までお願いいたします。)

認定された銘柄豚肉は協議会ホームページでご紹介してまいります!!

新規入会会員のおしらせです



一般社団法人 家畜改良事業団(東京都・理事長 伊地知 俊一)

令和3年5月26日入会、新しく会員となりました。会員の皆様においては既に、遺伝子を使った育種改良などの取組でお付き合いのある方もたくさんいらっしゃると思います。国産純粋種豚のますますの能力向上とパワーアップのためにも、御指導御鞭撻を頂きたいと思います。よろしくお願いいたします。

飼養衛生管理基準(豚・いのしし) ガイドブックができました

改正された飼養衛生管理基準(豚・いのしし)について、ガイドブックができました。ガイドブックは、農林水産省ホームページにてPDFで公表されているほか、養豚生産者の皆さまには地元の家畜保健衛生所を通じて配布される予定です。

(参考)農水省ホームページ

https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/katiku_yobo/k_shiyou/index.html

国産純粋種豚改良協議会の現在の会員数は、生産者会員が23名、団体及び試験研究機関会員が当協会含め18名です。オブザーバー会員は5名となっております。正会員への変更手続き、新規入会をお待ちしています!!

中国及び 東南アジアとドイツでも発生したアフリカ豚熱(ASF)と 陽性イノシシが東北地域まで広がっている 豚熱(CSF)の防疫強化を！！

ASF は非常に厄介な病気で、国内への侵入は全力を挙げて阻止する
必要があります。また、CSF の拡散防止のため衛生対策を徹底しましょう

ASF ウイルスは中国及びベトナムほか東南アジア・朝鮮半島、更には直近ドイツでも発生し、いつ日本に侵入してもおかしくない状況です。国に対し、水際防疫の強化を要請していますが、国内養豚農場では防疫レベルを最高レベルに引き上げ、防疫強化をすぐに実施し国内への侵入を全力で阻止しましょう。

また、感染が広がっている CSF についても養豚経営の存続にも関わる疾病です。これ以上拡散しないよう飼養衛生管理基準を遵守し、農場の衛生対策を今一度確認いただき侵入防止に努めましょう。

『種豚・精液、肥育もと豚等の 導入・販売でお困りの生産者の皆様へ』

相談窓口を開設しています。

国内で発生しております CSF 対策として一昨年からワクチン接種推奨地域においてワクチン接種が開始されました。

これにより、ワクチン接種した種豚等は非接種地域への移動が出来なくなり、この影響で従来の取引先から種豚・精液、肥育もと豚等の導入・販売が出来ずに困っているという相談が多数寄せられています。

JPPA では、国産豚肉生産への影響を少しでも緩和するため、種豚・精液、肥育もと豚等の導入・販売に関してのご要望、ご相談をお受けし、可能な限り対応して参りますので、情報をお寄せいただきますよう、ご協力のほどよろしくお願い致します。

なお、頂いた情報は個人名等を除いた形で他団体等とも共有し、効果的なマッチングを図っていきたいと考えています。

つきましては、種豚・精液、肥育もと豚等のマッチング用情報提供用紙を作成しておりますので、事務局までご連絡ください。

また、現状の顧客以外に配布可能な豚等がございましたら、この取組の一助となりますので、事務局まで情報をお寄せいただきますようよろしくお願い致します。(情報提供用紙は JPPA ホームページでも提供しています。)

●お問い合わせ等 窓口：国産純粋種豚改良協議会 又は
(一社)日本養豚協会 改良部



国産純粋種豚ホームページにあなたの自慢の種豚の写真を掲載しませんか?お問い合わせは事務局まで。



事務局からのお知らせ

「国産純粋種豚改良協議会」は平成28年3月31日、オールジャパンでの種豚改良を目指して発足しました。只今、会員絶賛募集中です!!

★令和3年度 種豚導入補助事業 ご案内

事務局である一般社団法人 日本養豚協会では令和2年度も種豚導入補助事業の事業実施主体となりました。国産純粋種豚の能力底上げが目標の事業です。令和元年度も同様の事業があり、会員及びオブザーバーの方で事業参加されて、積極的に改良のための導入を行って頂きました。本事業は単年度事業ですが、平成26年度から続いている事業で、生産者間血縁構築にも有効に活用されています。せっかくの補助事業です。協議会の目標達成の為に是非、有効活用しましょう。お問い合わせは事務局の湯浅までお願いします。

★協議会内部での種豚交流について

改良のスピードアップの、ひとつの指標となる遺伝的能力評価精度向上を図るためには、協議会員間での血縁構築が重要となってきます。是非、会員間で種豚交流を実施しましょう。御連絡いただければ会員にお知らせいたしますので事務局までお願いします。是非、公式ホームページ・本日よりもご活用ください!!

★会員、絶賛募集中!!

より多くの種豚生産者に参加していただくことで、国産純粋種豚改良協議会の活動が盛り上がり、かつ、データがたくさん集まり、改良のスピードアップも狙えます。是非、入会をよろしく願いいたします。協議会認定銘柄豚事業もスタートしました!!協議会についてのお問い合わせもお待ちしています。

★産肉検定・豚人工授精師資格取得等について

産肉形質改良のための素材となるデータ測定についても、積極的に実施をお願いしたいところですが測定機器が無いなどのお悩みについて、協議会一丸となって取り組んでいきたいと思っております。また、最近非常に問合せが増えております、豚人工授精師資格取得や人工授精の講習会等、皆さんで情報交換を行いたいと思っております。是非、事務局へお問い合わせ下さい。全体で対策を検討したいと思います。

★国産純粋種豚改良協議会だより について

普段なかなか集まることのできない、会員及びオブザーバーの交流の場としても是非ご活用ください。掲載希望記事や掲載希望コーナーなどの御提案をお待ちしています。事務局までどんどんお寄せ下さい。また、改良に関する質問なども受け付けております。

(例:会員及びオブザーバーの紹介コーナー、会員及びオブザーバーに関するトピックコーナーなど)

国産純粋種豚改良協議会 事務局 一般社団法人 日本養豚協会 担当:小磯・湯浅・海老原・神長
〒1510053 東京都渋谷区代々木2-27-15 高栄ビル2階
電話:03-3370-5473 FAX:03-3370-7937 E-Mail:n.yuasa@pig-pins.com